

講義コード	25468006	
担当者	安 岡 匡 也 准 教 授	
研究題目	社会保障制度はどうあるべきか	
	<p>この研究演習入門では、社会保障制度についてどのような問題があるのかを理解した上で、その問題に対して社会保障制度をどのように改革していけばよいのかを考える。</p> <p>1. ゼミの内容</p> <p>社会保障制度についてどのような問題があるのかを把握するために、社会保障制度の問題を提示した新書などを読ませる予定である。社会保障制度には、年金、医療、介護、生活保護などあらゆる分野があるが、関心のある分野を学生が選択し、その分野に関する文献を読み、報告する。また、報告の内容は基本的に新書の要約のみならず、他の参考文献（新書で分かりにくい部分について、分かりやすく説明するために他の文献やデータを用いて補完的な説明を加える）を用いて、単なる新書の要約に終わらないものを理想とする。その報告に対して、ゼミ内でのディスカッションなどを行う。</p> <p>2. ゼミの選考について</p> <p>志望理由書を提出の上、面接を行う。志望理由書と面接に基づいて総合的に判断する。</p> <p>3. その他事項</p> <p>ゼミでの無断欠席をしないように。質問などありましたら、メールで気軽に質問してください。オフィスアワーや説明会の時でも結構です。参考までに私自身の研究内容などについては下記 URL を参考にしてください。</p> <p>4. 私の研究内容について</p> <p>現在の研究テーマにもあるように、私は社会保障制度の持続可能性について研究を行っている。特に、公的年金制度が存在する下で、政府はどのような政策（年金財源の調達のあるり方や育児支援政策など）を行うことによって公的年金制度を維持することができるかに関心がある。</p> <p>以下 URL はこれまでの研究内容を示したものであり、研究演習入門の選択の際の一助として欲しい。 http://www014.upp.so-net.ne.jp/masaya_yasuoka/1.htm</p>	
	受け入れ条件	志望理由書の提出と面接への参加
担当者のプロフィール	専攻	社会保障、財政学、マクロ経済学
	現在の研究テーマ	少子高齢社会における持続可能な社会保障制度のあり方
	所属学会	日本経済学会、日本財政学会、日本応用経済学会 International Institute of Public Finance